

2025年2月12日

各位

会社名 株式会社ソラスト
 代表者名 代表取締役社長 CEO 野田 亨
 (コード番号 6197 東証プライム)
 問合せ先 管理本部広報・IR部長 海野 あかね
 (TEL. 03-6890-8904)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2024年5月10日に公表した2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)の連結業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2024年度通期連結業績予想数値の修正(2024年4月1日～2025年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	139,000	6,200	6,050	2,500	26円69銭
今回修正予想(B)	137,000	6,950	6,600	3,860	41円85銭
増減額(B-A)	△2,000	+750	+550	+1,360	-
増減率(%)	△1.4	+12.1	+9.1	+54.4	-
(参考) 前期実績 (2023年度)	135,139	5,517	5,564	2,257	24円11銭

(2) 修正の理由

2024年度は、前年度に落ち込んだ営業利益のV字回復を実現し、同時に持続的な成長を推進するための基盤づくりの1年とすることを目標として、各種重点施策に注力してまいりました。

売上高においては、医療事業の既存請負業務や派遣業務の契約受注状況、介護事業の稼働の回復状況を総合的に精査した結果、前回発表予想をやや下回る見込みとなりました。

利益面においては、2023年10月から着手したスマートホスピタル事業、介護事業及び本社部門を中心とする各種構造改革が業績を牽引しました。また、前年度に計上した介護事業の減損損失による減価償却費及びのれん償却費の減少が当初計画以上となったことも業績に寄与しました。上期経過時点では、当初計画を上回る進捗となっていたものの、下期以降の最低賃金

上昇への対応や更なる処遇改善及び環境の変化による不確実な各種要因等を考慮し、通期連結業績予想を据え置いていました。しかしながら、第3四半期には、当初計画以上の処遇改善を行いながらも、特にスマートホスピタル事業は事業開始以降初めて四半期での黒字化を達成する等、各種構造改革が引き続き想定を上回る形で順調に推移したこと等により、営業利益において前回発表予想を上回る見込みとなりました。加えて、主に介護事業における稼働率の改善等により、例年と比較し特別損失の計上が減少する見込みであることから、親会社株主に帰属する当期純利益においては、前回発表予想を大幅に上回る見込みとなりました。

これらを踏まえた結果、連結業績予想を上記の通り修正します。なお、今回の連結業績予想の修正に伴う配当予想の修正はありません。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上